

単元名 8 表現を見つめる 一 走れメロス

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えることができる。
 (2) 「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取ることができる。
 「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えることができる。
 登場人物の人物像や表現の仕方など、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめることができる。
 (3) 粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとする。

標準的な展開例

11210301_001

【準備等】国語指導CD, 再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 本文を通読し、印象に残った部分や表現について意見交流をする。</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★ 本文を読み、感想を交流しよう。</p> <p>○ 印象に残った場面や難語句等に印を付けながら、全文を通読する。</p> <p>○ 初発の感想を書く。</p> <p>○ 印を付けた内容について、初読の感想を話し合う。</p> <p>2 ディオニス王とメロスの人物像の変化について考える。</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★ ディオニス王とメロスの変化を捉えよう。</p> <p>○ 文章の構成を整理し、あらすじを確認する。</p> <p>○ 場面の展開に合わせ、ディオニス王とメロスの変化を捉える。</p> <p>○ ディオニス王とメロスがどのように変化しているかを話し合う。</p> <p>3 ディオニス王とメロスの言動に対して、自分の考えをもつ。</p> <p>○ 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★ ディオニス王とメロスの言動に対する自分の考えをもつ。</p> <p>○ ディオニス王とメロスの言動や考え方について、共感できるかできないか、自分の考えをもつ。</p> <p>○ グループで自分の考えを発表し、交流する。</p>	<p>・ 既習した文学的文章の登場人物を取り上げ、人物の心情が変化していくことが、話の展開をおもしろくする要素になることを認識させる。</p> <p>・ 「目標」(p.196)を読み、単元の目標を説明する。</p> <p>・ 教師による範読か、国語指導CDを利用するとよい。</p> <p>・ 初発の感想をもち、それがどのように変化していくのかを捉えることが、今回の学習で大切な点であることを説明する。</p> <p>【評】初発の感想を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 意見交流を活発に行うために、ページと行数についても発表させ、その箇所を全員で共有する。</p> <p>・ 印象に残った場面や、その場面に対する感想は、さまざまな視点から出すようにさせる。</p> <p>・ テーマや内容に関することだけでなく、語りや文体、表現技法などの感想も取り上げ、巧みな表現技法に気付かせたい。</p> <p>・ 場所や日時に注目すると大きく次の5場面に分けられる。</p> <p>① 町と王城(0日目) ② 村に午前到着し、夜に婿を説得(1日目) ③ 真昼に結婚式(2日目) ④ 朝から町に向けて走る(3日目) ⑤ 日没前に王城に到着</p> <p>・ 実際の発言や心の中でつぶやいた言葉、情景描写に注目するとよいことを助言し、学習プリントにまとめさせる。</p> <p>【評】王とメロスの変化を捉える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 考え方の根拠となる引用部分も出させて、自分だけでは考えなかった部分に気付くことができるようにしたい。</p> <p>【評】自分の考えを発表し、交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 王とメロスの人物像は、いつ、どこで、どのように変化したかを確認する。</p> <p>・ 理由を明確にししながら、自分の意見を学習プリントやノートに書かせる。</p> <p>【評】ディオニス王とメロスの言動に対する自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 自分と同じ考え、違う考え、なかった考えなど、自分の考えと比較しながら聞くようにさ</p>

- 4 メロスの人物像の変化を物語全体から考える。
 ○前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。
- ★自分の意見を発表し合い、考えを深めよう。
 ○ディオニス王やメロスの言動や考え方に対する自分の意見を、違うグループで交流する。
- ディオニス王とメロスの変化についてまとめる。
- 5 作品の魅力、価値について考えをもつ。
 ○前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。
- ★この作品の魅力について考えよう。
 ○作品全体の中で、最も引きつけられた部分はどこか考える。
 ○引きつけられた理由について考え、まとめる。
- 考えたこととその理由をグループで発表する。
 ○次時の学習内容を知る。
- 6 作品に描かれた出来事や登場人物について題材や形式を選択し、文章を書く。
 ○本時の学習課題をつかむ。
- ★文章の形式や表現の仕方を工夫して文章を書こう。
 ○伝えたい内容や事柄を明確にして、文章の形式を選択する。
- 「走れメロス」に描かれた出来事や登場人物などを題材にして、文章を書く。
- 書いた作品を互いに読み合い、交流する。
- 学習を振り返る。

せる。
 【評】グループで意見を発表し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・前時の最後にグループで交流した内容について振り返る。

・教師がグループを決める、自由に意見交換するなど、学級や生徒の実態に応じて形態を変える。
 ・交流を通して、納得できた考え、納得できない考えなど、印象に残った意見をメモさせておく。

【評】自分の意見を交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
 ・さまざまな捉え方や読み取り方を知り、自分の考えを深めたり広げたりできるようにしたい。

・本時では、場面展開や表現の工夫など、文学作品としての価値やおもしろさに気づき、自分の考えをまとめることを伝える。

・内容や場面だけでなく、表現でもよいことを伝える。
 ・共感できるかできないかではなく、作品としての魅力を客観的に分析し、ノートや学習プリントに書かせる。

【評】作品の魅力についての考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
 ・全体でも発表させて、考えを広めたい。

・「文章の形式を選び、表現のしかたを工夫して書く」(p. 209)を参考に、新聞記事や短歌作品紹介文など、選択させる文章の具体例を提示しながら、それぞれの特性を簡単に確認する。

・選択させる文章の形式は、他に、鑑賞文、記録文、小説、説明文、主張文、詩、俳句、川柳などが考えられる。生徒の実態やこれまでの学習状況に応じて、柔軟に対応したい。
 ・自分が引きつけられた場面を適切に伝えるようにし、分量や時間は、生徒の実態に合わせて設定する。

【評】形式や内容を選択して表現を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・生徒の実態や時間数に応じて、小グループでの発表、学級全体での発表、ポスターセッション形式での発表など、ふさわしいものを設定したい。
 ・「学習を振り返る」(p. 213)を使って自己評価させたい。

【 備 考 】

第2学年における最終のまとめである。ここでは、様々な文章に触れながら、読んだり書いたりする力をより確かなものにするとともに、人間の様々な営みを見つめさせていく。物語の登場人物は、置かれた状況により様々な側面を見せる。そうした様々な人間の営みに触れるとともに、言葉を通して自らを見つめ直し、人間に対する理解を深めさせたい。

言語活動としては、一年間の学習のまとめとなる壁新聞を作成して発表する際、自分の考えを広げるために、互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりする活動がある。この活動は、今後の学習にも生活にも役立つことだろう。

また、多感なこの時期の生徒は、自分や他人を肯定的に見られなくことも多い。批判的に見ることは、新たな発見や成長につながることであり、自分との関わりから人や物事を見つめ直す経験をさせ、人間に対する理解を深め、たくましく生きていく力を養いたい。